



＜教育目標＞

- 思いやりのある子ども
- 進んでやりぬく子ども
- じょうぶな子ども
- よく考える子ども

令和 元年 10月31日(木)

練馬区立豊玉第二小学校

校長 永井美奈子

豊二小だより 11月号

令和元年度 学力調査の結果より

副校長 栗本広明

全国学力・学習状況調査（6年生・平成31年4月18日実施）と東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査（5年生・令和元年7月4日実施）の結果が出ましたので、概要についてお知らせいたします。各学年の教科別の具体的な内容については、次項を御覧ください。

【6年】(全国)

教科	平均正答率(%)		
	本校	東京都	全国
国語	△59.0	65.0	63.8
算数	△68.0	70.0	66.6

◎十分満足できる(全国の平均正答率+5ポイント以上)
○概ね満足できる(全国の平均正答率±0~+5ポイント)
△努力を要する(全国の平均正答率±0ポイント未満)

【6年】1学期に行った学力調査は、左記のような結果になりました。6年生の国語の平均正答率が、全国と比べて4.8ポイント、都と比べると6ポイント下回りました。算数においては、全国と比べて1.4ポイント上回りましたが、都と比べると2ポイント下回りました。国語は、記述式の問題に課題が見られました。自分の考えを明確にしなが、文章にまとめることができるように指導していきます。

【5年】(東京都)

教科	平均正答率(%)	
	本校	東京都
国語	△61.3	67.6
社会	○67.1	66.7
算数	○61.9	60.1
理科	○57.0	56.8

◎十分満足できる(全国の平均正答率+5ポイント以上)
○概ね満足できる(全国の平均正答率±0~+5ポイント)
△努力を要する(全国の平均正答率±0ポイント未満)

【5年】東京都の平均正答率と比べて、社会・算数・理科の三教科は、若干上回りました。しかし国語に関しては、6.3ポイント下回りました。国語については、更に読む力と読み取る力を付けて、自分の考えを文章にきちんとまとめることができるように指導していきます。また読書量を増やし、読解力を高めていきます。算数においても、習熟度別算数少人数学習を更に充実させ、基礎・基本の充実と発展的な内容にもチャレンジできるように指導していきます。

【児童質問紙による調査より】児童質問紙による調査とのクロス集計による分析では、「朝食を食べるか」や「認められたことがあるか」の質問に対し、肯定的な回答をしている児童は教科の正答率が非常に高いとの結果が出ました。また、授業で発表したりしている児童、授業以外で2時間以上学習をしたりしている児童の正答率が高いとの結果も出ました。学校で学習した内容の定着を図るために、全ての学年における家庭学習の習慣化に力を入れていきます。今後も褒めて伸ばす指導・支援の工夫に努め、自己肯定感を高めながら、学習意欲の向上に努めていきたいと思ひます。御家庭におかれましても、基本的な生活習慣の定着をさらに図り、家庭学習の習慣化がさらに定着できるように引き続き御協力をお願いいたします。

【東京ベーシックドリルの活用】東京都教育委員会のHPよりダウンロードできます。基礎・基本の定着を図るためのものです。解答も掲載しております。家庭学習でもぜひ、御活用ください。

http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/school/study_material/improvement/tokyo_basic_drill/about.html